

平成26年度新潟県支部同窓会総会の開催報告

平成26年7月6日(日)、新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟で、新潟県支部同窓会定例総会を開催しました。例年土曜日の開催ですが、開業の先生の参加に配慮して、今年は日曜日の開催でした。当日は会員33名の出席があり、大学から来賓として獣医学部動物応用科学科教授滝沢達也先生のご臨席をいただきました。

総会に先立ち、故上村弘俊先生(S33卒)、宮里徹先生(S31卒)のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

総会は、岡澤武夫会長(S35卒)の挨拶に始まり、会長を議長として議案が審議され、平成25年度事業報告及び収支決算並びに平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)は、いずれも原案どおり承認されました。役員改選も行われ、新旧の交代がありました。会長は岡澤会長が再任されました。

総会の後、滝沢先生から「大学の近況と研究紹介-脂肪組織からの神経分化-」と題して講演がありました。大学の建物の多くが更新され、淵野辺の街も変わったことを多くの写真で示してくださいました。建物だけでなく、講師陣も懐かしい先生方がどんどん退職し、学長も6月に政岡学長が浅利学長へ交替したことも教えていただきました。また、先生の研究では、脂肪組織からできてくる幹細胞が神経に分化することを示していただき、神経損傷の治療へのつながりが期待されるもので、幹細胞研究の最先端についてご教示くださいました。

続いて催された懇親会は、小松原先生(S24卒)の乾杯で始まり、参加会員の自己紹介と近況報告、酔いが回れば「寮歌」、「記念祭の歌」そして、毎年恒例の早福昌司先生(S34卒)の「数え歌」の合唱で大いに盛り上がりました。

新潟県支部は総会に併せて毎年「新潟県同窓会報」を発行しています。今回で第43号となりました。特に、嶋村先生(S42卒)から投稿いただいた「なつかしい この写真」は好評で、相撲部のまわしを付けた嶋村先生を囲んで、同じ総会に参加していた井之川先生、

春川先生と一緒に映っている写真でした。今は歳をとったけれども、若いころが思い出されるとても良い写真でした。会報への投稿として、「一枚の写真から」というテーマで原稿を募集しています。思い出の一枚が必ずあると思いますので、会員の皆様からの投稿をお待ちしています。



事務局 田村(S58卒)